



株式会社VPP Japanとの資本業務提携について

2018年11月1日
関西電力株式会社
合同会社 K4 Ventures



OSAKA-KANSAI/JAPAN
EXPO2025

関西電力グループの取組み

経営環境

電力の小売全面自由化により、「地域独占・総括原価の世界」から「自由競争の世界」へと劇的に転換し、エネルギー新時代へと突入



- ◆ 国内の電力需要の大きな伸びが期待できない中、さらなる成長を実現していくため、2016年4月に『**関西電力グループ中期経営計画**』を策定
- ◆ 本計画では、既存事業の伸長のみならず、**新規事業、新商品・サービスの開発を目的に、これまでにない取組みを積極的に推進**

関西電力の
取組み

社外のアイデア・リソースの積極的な活用

最先端技術の活用と新たなビジネスモデルの挑戦

イノベーション推進に向けた仕組みづくり

「株式会社VPP Japan」の概要

会社概要

株式会社VPP Japan

設立：2017年6月

資本金（資本準備金含む）：4億7千万円

本社：東京都品川区東五反田5丁目11番1号

代表者：中村 謙吾

(事業内容)

- 建物の屋根を賃借したうえで、お客さまの電力使用量に応じた最適な太陽光システムを設置し、発電した電力を建物に直接送る自家消費型の供給事業を展開中。
- 将来は、上記の太陽光システムを活用し、蓄電池等のDERをネットワーク化し、最適制御するVPPの構築を目指す。

サービスの概要

株式会社VPP Japan

お客さまの屋根を使用賃借し、太陽光システムを(株)VPP Japanの資産として導入、契約期間中運用（施工／運用管理）

施設屋根に太陽システムを設置



供給契約

電力供給

お客さまの施設

【対象施設】

スーパー
ドラッグストア
冷蔵/冷凍倉庫
食品工場など



供給契約

電力供給

お客さまの施設

発電供給分を電気料金としてお支払い

独自のバーチャルパワープラントの構築を目指すエネルギーベンチャー企業

「株式会社VPP Japan」との資本業務提携の概要

資本業務提携の目的

当社は、電力系統に点在する需要家の機器をIoT化し、一括制御することで、需要家設備から捻出できる需給調整力を有効活用し、あたかも1つの発電所（バーチャルパワープラント〔VPP〕）のように機能させる仕組みの構築を進めているが、株式会社VPP Japanと当社が保有するDER（Distributed Energy Resources）の活用ノウハウを相互に共有し、新たなサービスの開発を目指す。

連携イメージ

